

まちかど

アルバム



しゃんしゃん祭の成功を祈って

うべ
宇倍神社
みやのした

7月6日(火) 国府町宮下の宇倍神社で「第46回鳥取しゃんしゃん祭成功祈願祭」が行われました。はじめに、鳥取しゃんしゃん祭振興会会長の竹内市長らが拝殿で玉串を奉納。続いて、拝殿前の広場で第11代鳥取しゃんしゃん鈴の音大使の3人が、色鮮やかな浴衣姿で華麗な傘踊りを奉納しました。同祭りは、8月7日(土)のオープニングセレモニーと東京ディズニーリゾートスペシャルパレードを皮切りに、10日間にわたって盛大に開催されます。

親子でらっきょう漬けを体験

福部幼稚園

6月24日(木) 福部幼稚園で「親子らっきょう漬け体験」が行われました。参加した親子は、福部すこやか食生活の会員に教えてもらいながら、根を切ったらっきょうを流水で洗い、熱湯に通した後、甘酢に漬けました。昨夏の植え付けから、今年の収穫、酢漬け体験と1年を通してらっきょうと関わった子どもたちは、ますます福部町特産のらっきょうを好きになったようです。



「本と人、人と人」が会う講座

用瀬図書館

7月3日(土) 講師が自身の経験を元に役に立った本を紹介する講座が、用瀬図書館で開催されました。全8回のうち第1回となるこの日は「Uターンして目にうつったふるさと鳥取」と題して、鳥取ふるさとUI会会長の福山裕正ふくやまひろまささんが講演。人生の転機となった出会いや、町おこしという夢に向かってワクワクしている現在の心境を、本の紹介と自作の川柳を交えながら楽しく話しました。



"まち"と"むら"が農業体験で交流

ゆみごうち
河原町弓河内

7月4日(日) 河原町弓河内の畑で、修立小学校(立川町5丁目)児童と修立地区の住民、そして河原町西郷地区の住民が、サツマイモの苗植えを行いました。これは、修立地区公民館といなば西郷むらづくり協議会が、「まち」と「むら」の交流を深めようと初めて企画したものです。児童らは、地元農家の人たちに教わりながら、約500平方mの畑にベニアズマの苗300本を植えました。秋には、収穫を通してさらに交流を深めるそうです。





ダンスで国際交流

鹿野町中央公民館

6月26日(土) 地元のスポーツクラブ・鹿の助が主催する「第5回日韓ダンス交流 in 鹿野」が鹿野町中央公民館で行われ、韓国チョルナムドクレグンサンドン全羅南道求礼郡山洞からの訪問団(呉敬花オキョンファ団長)17人と地元住民70人がダンスで交流しました。参加者は、自国の伝統的な踊りを披露したり、互いの国の踊りを教わったりと、熱心に交流。会場は、韓国のチマチョゴリと日本の浴衣や法被ほっぴ姿の参加者で、華やかに彩られました。

鳥取カレーラーメンできました

本家夢屋西町店

松葉がに、ラッキョウ、二十世紀梨など、鳥取の幸を原料にしたオリジナルルウ「鳥取カレーの素」を使ったご当地ラーメンが完成しました。「鳥取カレーラーメン」と名付けられたこの商品は、鳥取カレーの素を開発した鳥取カレー研究所と鳥取商業高校、(株)ゆめやが共同で企画したもので、半年以上の試行錯誤を重ねて完成した一品です。鳥取の新たな観光資源として、人気を集めそうですね。



犯罪のない明るい社会を目指して

青谷駅

犯罪のない明るい社会の実現と、犯罪者の更生についての正しい理解を深めるための運動「第60回社会を明るくする運動」が7月1日(木) 全国で一斉に始まりました。青谷地域では、7日(水)にJR青谷駅で、保護司会や更生保護女性会、民生児童委員協議会などの会員13人が、駅利用者ポケットティッシュなどの啓発グッズを配り、非行や犯罪のない明るいまちづくりを呼びかけました。



やまびこ館 満10歳のお誕生会

やまびこ館

7月3日(土) 開館10周年を迎えた鳥取市歴史博物館「やまびこ館」で記念セレモニーとコンサートが行われました。やまびこ館と同じく7月1日で10歳となった市内の小学生4人に記念品が贈られた後、チビ子に大人気の「ロケットくれよん」のコンサートがスタート。オリジナルの「チャチャチャ流れ星」や「パンやのパンダ」などの遊び歌で、会場は大いに盛り上がりました。



売り切れ御免! のまんじゅう誕生

佐治町

五し(星・石・梨・話・和紙)の里、佐治町に新たな名物「五しの里まんじゅう」が誕生しました。粒あんをきゅうひ求肥で包み、五しのマークを型押ししたまんじゅうは、うるち米100パーセントで噛み切りやすく、幼児から高齢者まで食べやすい食感となっています。佐治ふれあい作業所で一つひとついいいに作られた、この数量限定の五しの里まんじゅうは、さじアストロパークの売店で販売しています。

